エコアクション21

2022 年度 環境経営活動レポート

株式会社 三和商会 株式会社 三和プロテクト

> 対象期間 2022年7月~2023年6月 発 行 日 2023年9月1日

目次

1.	組織の概要及び対象範囲	1		
2.	基本理念·環境経営方針 ····································	2		
3.	実施体制	3		
4.	環境経営目標	4		
5.	環境経営活動計画	4	5	6
6.	環境経営目標の実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6		
7.	環境経営活動計画の取組結果とその評価	7	8	
8.	環境関連法規等の遵守状況並びに違反・訴訟の有無	9	10	
9.	代表者による評価と見直し	11		

1. 組織の概要及び対象範囲

【事業所概要】

•事業所名	株式会社 三和商会	株式会社 三和プロテクト						
•代表者氏名	代表取締役社長	石川 和彦						
•事業所所在地	静岡県磐田市	5上岡田464						
•環境管理責任者氏名	石川 (任期を2年とし、更新の都	. —						
•担当者連絡先	0538-32-9638	0538-32-3030						
•活動内容	建設業(管、土木、とび・土工、舗装、塗装、 水道施設、建築、大工、消防施設 工事業)	保険業						
•設立年月日	昭和33年1月	平成13年5月						
·決算時期	6月	4月						
・売上高	207 百万円(2022 年度)	78 百万円(2022 年度)						
•従業員数	13 名	3 名						
•事業所延床面積	658.54	4m²						

対象範囲 (株)三和商会及び三和プロテクトの建設業および保険業 (全組織・全活動)

2. 基本理念・環境経営方針

エコアクション21

【基本理念】

株式会社 三和商会は持続可能な循環型社会を目指し、企業活動と環境との調和を図ることを 基本理念とする。社員は、きれいな未来を子供たちに託すことに貢献するよう、 地域の生活環境の向上に努める。

【環境経営方針】

株式会社 三和商会は、建設業(土木、とび・土工、ほ装、塗装、水道施設工事業)を経営するにあたり、積極的に自然環境の保全と維持及び継続的に改善に努め、人類に多大な恵みを与える地球環境の維持向上の為に 努力する。

また株式会社 三和プロテクトにおいても環境に配慮した経営を常に考え、お客様に環境への取り組みを推進、ご紹介することに努める。

【行動方針】

事業活動等において、環境関連法規及び条例、当社の同意出来るその他の要求事項を遵守すると共に、 地球環境への負荷を軽減する為に下記の事項に目的・目標を設定して継続的改善を図る。

- 1. 環境に配慮した工事の推進
- 2. 二酸化炭素排出の抑制
- 3. 産業廃棄物の削減 (リサイクルの推進・再資源化の向上)
- 4. 水資源使用の抑制

本方針は、会社組織で働く全ての社員に周知徹底すると共に、社会一般に開示されます。

制定日: 平成 19 年 7 月 1 日

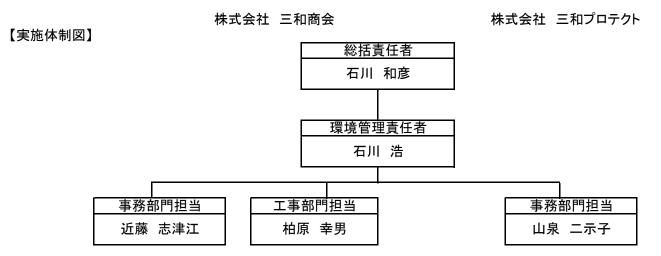
改定日: 令和 3 年 4 月 30 日(第 2 版)

株式会社 三和商会 代表取締役 石川 和彦

3. 実施体制

【環境活動の実施体制】

環境目標に向けての活動は、下記の組織にて行い、社員一丸となって取り組みます。



【役割】

〈総括責任者〉

- 環境方針を定める
- •環境管理責任者、事務部門担当、工事部門担当を指名する
- ・システムの見直し
- ・経営における課題とチャンスの明確化

- 〈環境管理責任者〉・システムの総責任者としての役割権限を持つ
 - ・システムの実績を総括責任者に報告する
 - ·全体計画の立案
 - ·文書の作成、管理
 - ・システム運用上の事務管理
 - ・エコアクション21の教育実施

- 〈事務部門担当者〉・行動方針による事務所施設内の取りまとめ
 - ・環境管理責任者の事務管理のサポート

〈工事部門担当者〉・行動方針による工事現場の管理

- 作業教育の実施
- ·実施状況の確認

〈全部門共通〉

環境に関する苦情や要望の受付窓口

工事現場での騒音や現場での環境に対するマナー等で苦情が寄せられた時は、 苦情について記録を取り、全社員が回覧する。

担当者は、内容によって全社員を集め、検討会を開く権限を与え、迅速に対応にあたる。

4. 環境経営目標

総量

心里					_							,	
			単位	2018	年度	2020	年度	2021	年度	2022	年度	2023	年度
				実績(基	準)	目標削減率	≅ 2%	目標削減率	区 3%	目標削減差	率 4%	目標削減率	5%
環境配慮の工事(工事評価点)			点	点 81.0		81.1		81.2		81.2		81.3	
	CO2	2排出量	Kg- CO2	71,723.	07	70,288.	61	69,571.	38	68,854	.15	68,136.9	2
		電力	kwh	16,640.	00	16,307.	20	16,140.	80	15,974	.40	15,808.0	0
CO2の削減	内	ガソリン	ガソリン ℓ		18,310.42		17,944.21		17,761.11 17,5		.00	17,394.9	0
UUZUJ FIJ NK	%	軽油	Q	11,294.	12	11,068.	24	10,955.	30	10,842	.36	10,729.4	1
	訳	灯油	Q	917.89	9	899.5	3	890.3	5	881.1	7	872.00	
			kg	21.60	1	21.17	1	20.95	i	20.74	4	20.52	
産業廃棄物排出量の削減 (再資源化率)			%	94.0%	6	96.09	6	97.09	6	98.0	%	99.0%	
水資源使用量排水		m3	62.0	62.0		60.8		60.1		5	58.9		

売上あたり(2018年度売上高:277百万円)

元上めたり(2018年度元上局:277日カ円)															
			単位	2018	年度	2020	年度	2021	年度	2022	年度	2023	年度		
				実績(基	準)	目標削減率	2%	目標削減率	3%	目標削減率	4%	目標削減率	5%		
	CO	2排出量	Kg- CO2	201.	5	197.4		195.4		193.4		191.4			
	内	電力	kwh	46.7	1	45.8		45.3		44.9		44.4			
CO2の削減		内	内	内	ガソリン	Q	51.4		50.4		49.9		49.4		48.9
しし207月1/0		軽油	Q	31.7	1	31.1		30.8		30.5		30.1			
	訳	灯油	Q	2.6		2.5		2.5		2.5		2.4			
		ガス	kg	0.12		0.12		0.12		0.12		0.12			

[※]化学物質は使用していないため、目標は設定していません。

5. 環境経営活動計画

【主要な活動計画·内容の詳細は2022年度環境活動計画書による】 活動計画

目標を達成するための各活動は通年を通して行う。責任者は各部門長とする。

- A. 環境配慮の工事(工事評価点)
 - *環境配慮については、環境配慮=工事の検査結果の得点とする。

事務部門

〈活動内容〉

① 工事着工前の書類関係の整理

工事部門

〈活動内容〉

① 創意工夫、地域への貢献等に心がける。

- B. 二酸化炭素排出量の削減
 - * これらは、主だったもので各部門、互いに協力し削減に努める。

事務部門

〈活動内容〉

- ① 照明・・・消灯をこまめに行う 照明は、使用する人が適宜に判断するものとするが、 窓側の利用は出来るだけしない。 使用していない場所の照明はこまめに消す。
- ② 冷暖房・・・冷暖房装置を極力、使用しない。
 冷房設定温度 27°C 暑さ対策(薄着や、ブラインド等)をし、極力、使用をしない。
 暖房設定温度 24°C 寒さ対策(膝掛けや、厚着等)をし、極力、使用をしない。
- ③ パソコン・・・長時間、席を外す時は、パソコンの電源を切る。 モニターと本体の両方の電源を確認。 プリンターは、昼休み、業務終了後は電源を切る。
- ④ コンセント…普段、使用頻度の少ないものについては、 コンセントを抜いておく。

工事部門

〈活動内容〉

- ① 法定速度運転の推進
- ② アイドリングストップの奨励
- ③ 定期点検打ち合わせの奨励(現場にての打ち合わせ)
- ④ 無駄な移動の削減
- ⑤ 在庫管理を徹底し、適正な保存・使用をする。
- ⑥ 工事現場での廃棄物処理業者・周辺住民等への注意喚起の徹底

C. 産業廃棄物排出量

事務部門

〈活動内容〉

- ①コピー用紙の使用量を減らす。
- * コピー用紙の裏面については、個人情報保護法の関係により保護するべきものは使用せず、シュレッダーにより処理をする。
- ② コピー用紙の裏面はメモ帳等として利用
- ③ 紙面にて渡す必要のないものに関しては、データとして渡すこと
- ④ 在庫管理・・・在庫の確認を徹底し、無駄な発注を行わない

工事部門

〈活動内容〉

- ① コンテナBOXの年間処分の回数を減らす。
- * 現場での清掃時に出る細かいゴミ等は当社の処理範囲として処分する。
- ② 在庫管理…倉庫内の整理整頓を常に行い、在庫の管理に協力する
- ③ 分別の徹底

D. 水資源使用量の削減

事務部門

〈活動内容〉

① 流し台、トイレの手洗い場等の水を節水する。

工事部門

〈活動内容〉

- ① 現場内の節水に心掛ける。
- ② 車両の洗車時の水を節水する。

6. 環境経営目標の実績

【 2022 年度の活動目標と実績】

総量	•		_	1/20/11	ガロバビグ	N1X2		
			単位	2018 年度 基準実績	2022 年度 目標 2% A	2022 年度 実績 B	目標 達成率 A/B	評価
環境配慮の工事	(工事	評価点)	点	81.0	81.2	81.6	100.44%	0
	CO2	2排出量	kg- CO2	71,723.07	68,854.15	57,419.00	119.92%	0
		電力	kwh	16,640.00	15,974.40	19,415.00	82.28%	×
CO2の削減	内	ガソリン	l	18,310.42	17,578.00	12,848.29	136.81%	0
		軽油	Q	11,294.12	10,842.36	7,544.38	143.71%	0
	訳	灯油	l	917.89	881.17	224.00	393.38%	0
		ガス	kg	21.60	20.74	18.60	111.48%	0
産業廃棄物排出量の削減 (再資源化率)		%	94.0%	98.0%	99.2%	101.22%	0	
水資源使用量			m3	62.0	59.5	76.0	78.32%	×

[※]購入電力の二酸化炭素排出係数は中部電力の2021年度調整後排出係数0.388kg-co2/kwhを使用した。

売上あたり(2018年度売上高:277百万円)

<u> </u>		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		2018	年度	2022	年度	2022	年度	目標			
			単位	実績(基		目標		実績		達成率	評価		
						Α		В		A/B			
	CO2	2排出量	Kg- CO2	201.5	5	197.4	1	199.4	4	99.03%	×		
				電力	kwh	46.7		45.8		67.4	•	67.95%	×
CO2の削減	内	ガソリン	Q	51.4		50.4		44.6	44.6 112.99% C	0			
00207月1/10		軽油	Q	31.7		31.1		26.2		118.69%	0		
	訳	灯油	Q	2.6		2.5		0.8		324.87%	0		
		ガス	kg	0.12		0.12		0.06		184.14%	0		

7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

環境経営活動計画の取組結果と評価

[今年度の取組みの結果] 本年度も、電気使用量は目標達成できなかった。 化石燃料のガソリンと軽油と灯油は減少し目標達成できた。 売上あたりでみると、CO2排出量は目標達成できなかった。

[今年度の取組みの評価]

本年度も、例年通りの取り組みを行い、数量は減少傾向になった。 電気使用量については昨年同様、暑い時期と寒い時期の使用量が多かった。 化石燃料については、例年通りエコドライブを心がけを徹底したおかげか ガソリンの使用料は年々減少傾向にある。 水道の使用量は昨年より減少したが、目標値にはまだ遠い。 エ事内容に左右されるので、Asガラ・Coガラの排出量は年ごとに変動する。 今後とも、日々の取り組みを継続していけるように注視していきたい。

次年度の取り組み内容

次年度は、本年度の内容を引き継ぐものとする。また次年度においても、電力使用量を削減する対策を検討する。

2023 年度 活動計画

【主要な活動計画·内容の詳細は2023年度環境活動計画書による】 活動計画

目標を達成するための各活動は通年を通して行う。責任者は各部門長とする。

A. 環境配慮の工事(工事評価点)

*環境配慮については、環境配慮=工事の検査結果の得点とする。

事務部門

〈活動内容〉

① 工事着工前の書類関係の整理

工事部門

〈活動内容〉

- ① 創意工夫、地域への貢献等に心がける。
- B. 二酸化炭素排出量の削減
 - *これらは、主だったもので各部門、互いに協力し削減に努める。

事務部門

〈活動内容〉

- ① 照明・・・消灯をこまめに行う 照明は、使用する人が適宜に判断するものとするが、 窓側の利用は出来るだけしない。 使用していない場所の照明はこまめに消す。
- ② 冷暖房・・・冷暖房装置を極力、使用しない。
 冷房設定温度 27°C 暑さ対策(薄着や、ブラインド等)をし、極力、使用をしない。
 暖房設定温度 24°C 寒さ対策(膝掛けや、厚着等)をし、極力、使用をしない。

- ③ パソコン・・・長時間、席を外す時は、パソコンの電源を切る。 モニターと本体の両方の電源を確認。 プリンターは、昼休み、業務終了後は電源を切る。
- ④ コンセント…普段、使用頻度の少ないものについては、 コンセントを抜いておく。

工事部門

〈活動内容〉

- ① 法定速度運転の推進
- ② アイドリングストップの奨励
- ③ 定期点検打ち合わせの奨励(現場にての打ち合わせ)
- ④ 無駄な移動の削減
- ⑤ 在庫管理を徹底し、適正な保存・使用をする。
- ⑥ 工事現場での廃棄物処理業者・周辺住民等への注意喚起の徹底
- C. 産業廃棄物排出量

事務部門

〈活動内容〉

- ① コピー用紙の使用量を減らす。
- * コピー用紙の裏面については、個人情報保護法の関係により保護するべきものは使用せず、シュレッダーにより処理をする。
- ② コピー用紙の裏面はメモ帳等として利用
- ③ 紙面にて渡す必要のないものに関しては、データとして渡すこと
- ④ 在庫管理・・・在庫の確認を徹底し、無駄な発注を行わない

工事部門

〈活動内容〉

- ① コンテナBOXの年間処分の回数を減らす。
- * 現場での清掃時に出る細かいゴミ等は当社の処理範囲として処分する。
- ② 在庫管理…倉庫内の整理整頓を常に行い、在庫の管理に協力する
- ③ 分別の徹底
- D. 水資源使用量の削減

事務部門

〈活動内容〉

① 流し台、トイレの手洗い場等の水を節水する。

工事部門

〈活動内容〉

- ①現場内の節水に心掛ける。
- ② 車両の洗車時の水を節水する。

環境管理責任者 石川 浩

8. 環境関連法規等の遵守状況並びに違反・訴訟の有無

環境関連法規等の遵守状況

当社の関連する主な環境法規制と、その対応状況を確認した結果、違反はありませんでした。

		+D # 11 - 1	〇遵守 一該当		
法律等の名称	 届出、作業等	規制内 適用範囲	」谷 ┃ 適用条件	実施 手続き・順守事項	遵守
	用山、TF呆守	10 円 単し仕	週州米平 汚でい、廃油、廃プラ、建設木く	・委託基準1. 委託先の許可確認2. 委託契約の締結	0
	産業廃棄物の委 託処理	産業廃棄物	┃ず、建設紙くず、建設繊維くず、 ┃金属くず、ガラスくず及び陶磁器	・マニフェストの交付	0
廃棄物処理法	廃棄物の処理	廃棄物	現場保管 又は 仮置場	野外焼却の禁止 積み上げ高さの厳守、雨、風、悪臭 発生に対する養生、保管場所の掲示 板設置	0
	特別管理産業廃棄物 管理責任者、排出事業 所、排出報告の届出	特別管理産業廃棄物 (特に飛散性石綿系解体:廃石綿等)	自治体により上乗せ基準	知事・市長へ届出 (届出期間、様式は条例等規定)	_
	排出事業者の 処分場確認義務	産業廃棄物	静岡県による条例	不適正な処理が行われた場合の必要 な措置の実施及び県への報告	0
	削減計画書の提出	産業廃棄物	廃棄物の排出量が1,000tを 超えた場合	知事・市長へ届出	_
労働安全衛生法	解体・改修工事 に伴う「 <u>石綿等</u> 」 の除去作業 <u>(石綿障害予防規</u> <u>則)</u>	石綿等の除去作業 (封じ込め、囲い 込み作業含む)	「 <u>石綿等 (石綿及び重量比0. 1%</u> 超含有物) 使用建築物等」の解 体作業	 ・作業開始前14日前までに労働基準監督署に建築工事計画届を提出 ・作業主任者の選定 ・作業環境測定(6ヶ月以内ごとに 1回)健康診断(6ヶ月以内ごとに1回)等 ・記録の保存(40年間) 	0
建設 リサイクル法	解体工事、土工 事、外構工事、 型枠工事、木工 事	指定副産物	リサイクル法: 土砂、コンクリートの塊 、 7ス ファルト・コンクリートの塊、木材 国土交通省関係: 建設発生土、コン クリート塊、 7スファルト・コンクリート塊、建設 発生木材	·発生抑制(施工方法、資材選択) ·再利用、再生利用、再資源化努力	0
再生資源 利用省令	解体工事、土工事、 外構工事	牛十. コンクリート塊. アス	【再生資源利用計画の作成】 ・体積が1000㎡以上である土砂 ・重量が500 t である砕石 ・重量が200 t 以上である加熱 アスファルト 混合物	指定建設資材と再生資源の利用 量の把握等による計画の作成と実 施記録の保存(1年間)	0
家電 リサイクル法	特定家庭用機器の排 出(作業所あるいは 詰所の家電が対象)	特定家庭用 機器	【特定家庭用機器】 ・テレビ、エアコン、電気冷蔵庫及び冷凍 庫、電気洗濯機	小売店へ料金を支払い引き渡す又 は自治体指定の方法で引き取り依 頼する	
<u>建築物の解体等に</u> <u>係る</u> 石綿飛散防止対策 マニュアル	解体・改修工事に 伴う <u>石綿等</u> の除去 作業等	建築物の解体等の <u>石綿飛散防止</u>	大気汚染防止法に定める「特定建 築材料(石綿等)」使用の建築 物、工作物	排出の抑制に努めるとともに、国及 び地方公共団体の施策に協力	_
オフロード法	ブルドーザ、クローラク レーン、くい打ち機など	協力会社の持ち込み建設機 械など		・適合証明 ・平成18年4月施行前販売証明	0
フロン排出抑 制法	管理者の責務	冷媒用フロンの 措置	 エアコン、冷蔵・冷凍機器 (ショーケース、自販機、冷 水器等々含む)	・「委託確認書」の受理と写しの保存及 びフロン回収業者の「引取証明書」の 受理と写しの保存	_
			小服女、巨石/	・簡易点検の実施	0

【法規制への対応】

当社の関連する主な環境法規制と、その対応状況は下記のとおりです。

2 / 2

		規制内	1突		遵		
法律等の名称	—————————————————————————————————————	適用範囲	適用条件	手続き・順守事項	守		
騒音規制法	杭打ち機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等を使用する作	·特定建設作業 ·適用指定地域	.=	・知事へ7日前までに届け出			
	業			・作業敷地境界にて85デシベル以下	0		
┃ ┃振動規制法	杭打ち機、くい抜き機、ブレーカー 、舗	•特定建設作業		・知事へ7日前までに届け出	_		
3,50-33,50 (1.31-4.	装版破砕機を使用す る作業	・適用指定地域		・作業敷地境界にて75デシベル以下	0		
浄化槽法		浄化槽		·保守点検、清掃 10条 ·法定検査 11条	0		
土壌汚染 対策法	指定地域内での 土地の改変	土工事	有害物質使用特定施設の廃止 (跡地)	※当法令自体は、土地の所有者等に対する規制であるが、汚染土壌等を搬出する段階で当方にも規制あり	0		
悪臭防止法	市町村長	規制地域内	規制基準	規制基準の順守 適合しない場合の必要な措置	0		
セメント及びセメ ント系の固化材を 使用した改良土の 六価クロム溶出試験 実施要領	国土交通省、 農水省直轄工事	地盤改良工事	セメント系固化材使用	六価クロム溶出試験の実施	0		
消防法 (危政令)	火気の使用	火気の使用に関 する規制	電気・ガスによる溶接、溶断作業、 アスファルト等の溶解作業	市町村条例(火災予防条例) で定める。	0		
建設工事 公衆災害 防止対策要綱	を災害 「ったれのある」 対策要綱 「一			付近居住者等への周知・埋設物の 確認、土留工の管理・排水処理、 杭鋼矢板の引抜き埋戻し時の地盤	0		
(建築)	工事全般、解体 工事	【粉塵対策】 建設工事の施工に当 たって、 公衆に危 害、迷惑を及ぼすお それのある地域		沈下防止の処置 掘削土排出時の 塵芥・騒音防止の措置			
作業所で同意するその	・時間外の作業	・近隣協定	・騒音の発生する作業	・時間外での作業は事前に連絡する ・原則19時以降禁止	0		
向息するその 他の要求事項	・資材等の搬出入	・近隣からの要望で同意す るもの	・粉塵の発生する作業	・粉塵の発生防止・アイドリングストップ			

^{*}上記法規制を遵守するために協力業者にも協力を要請する。

違反・訴訟の有無 上記の通り、違法事項は有りません。 行政及び近隣からの訴訟は過去3年間有りません。

2023 年 6 月 30 日 環境管理責任者 石 川 浩

9. 代表者による評価と見直し

〈担当者〉 総括責任者·環境管理責任者

石川 浩

2023 年 6 月 30 日

定期確認・・・ 半期ごとに検証する。

以下の文書等を提出しました。

- ・エコアクション21文書
- 環境経営目標及び目標達成状況
- ・環境経営活動計画及び取り組み実施状況
- ・環境関連法規要求一覧及び遵守状況
- ・外部コミュニケーション・対応記録 ・問題点の是正・予防措置の実施状況
- 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向

[代表者による見直しと評価]

2023 年 6月 30 日 石川 和彦

今期は総量としては排出量の削減が出来ている所が増えた。 日頃から節電の意識を持って努力してはいたが 電気量を抑えることはできなかった。 排水量も抑えることができなかった。 目標を達成するにはどうしたら良いのか、検討しなおす必要性を感じた。 さらに各自の意識をあげるように、節電、節約などの励行をしていきたい。 環境方針、活動計画、環境経営システムは大きく見直す必要はないと判断する。